

国際会議参加報告（クリタ賞国際会議発表助成受賞者）

2023年10月22日～26日に高雄（台湾）でIWA World Water Congress & Exhibition 2023が開催され、平成28年度から始まった年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）を受けて、西山正晃氏（山形大学農学部）が参加され研究発表を行いました。

参加報告：IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2023

山形大学 西山正晃

この度は年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）を賜り、誠にありがとうございました。選考に関わられた関係者の方々に深く御礼を申し上げます。

2023年10月22日～26日に開催された9th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2023（台湾，高雄）に参加いたしました。当会議は、アジア太平洋地域の各都市を持ち回りで、2年に1回開催されるIWAによる水環境および上下水道技術に関する国際的な会議・展示会です。COVID-19の影響により、2019年の香港開催以来、4年ぶりにされました。今回は、台湾の高雄で開催され、「One Water for Smart City」が中心テーマのもと、水環境に関わる研究者、行政官、技術者が様々な分野から、1,362名の参加者が一堂に会しました。5日間で、9つのキーノートセッション、約350件の口頭発表、76件の企業展示が行われ、アジア太平洋地域における水問題に関連する最新動向や科学技術に触れる機会となりました。

私は10月24日のIntegrated Water Resources Management in Urban Areaのセッションにて、“Distribution and Characterization of Extended-Spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* in a River Basin in Yamagata Prefecture, Japan”というタイトルで口頭発表いたしました。本研究では、山形県内の河川を対象として、薬剤耐性菌の1つであるESBL産生大腸菌の蔓延状況を調査し、薬剤耐性の表現型や耐性遺伝子のプロファイリングとゲノムタイピングから、耐性菌の発生起源の解析を行いました。発表後の質疑応答では、研究に興味を持ってくださり、会場からは、対象河川流域における耐性菌の主要な発生源や、環境中での消長に関する要因について議論いたしました。また、発表後には、環境からの対象細菌の分離方法について、意見交換を行い、非常に有意義な時間となりました。発表後のセッションでは、初めて国際会議での座長を経験しました。拙い進行ではありましたが、副座長の協力を得ながら無事に完遂することができ、大変よい機会になりました。

10月26日は、台南市のダムである南化水庫（Nahua Reservoir）を訪問するテクニカルツアーに参加しました。午前には台南市にある南化水庫を見学し、浄水場と配水システムを見学しました。午後からは、台南市にある台南山上花園水道博物館を見学し、台南市内の上水道システムの構築の歴史を学ぶことができました。とくに、19世紀初めの台湾における上下水道事業の発展に、日本

人技術者が携わっていたことは感慨深いものとなりました。その後に訪れた、台湾水協会のトレーニングセンターでは、上水道システムのメンテナンス方法の教育を行っており、技術者の技術向上や次世代の人材育成にも力を入れていました。海外での現場環境や施設見学を通じて得られた見識を、自身の教育活動に活かしたいと思っております。

本会議に参加して、各国の研究者や技術者と意見交流ができ、様々な分野の研究発表に触れ、日本と異なる水処理の現場環境を体験できたことを大変光栄に思います。最後に、本研究の共同研究者である山形大学の渡部徹教授、岩手大学の米田一路氏、（株）日水コンの森祐哉氏に感謝申し上げます。

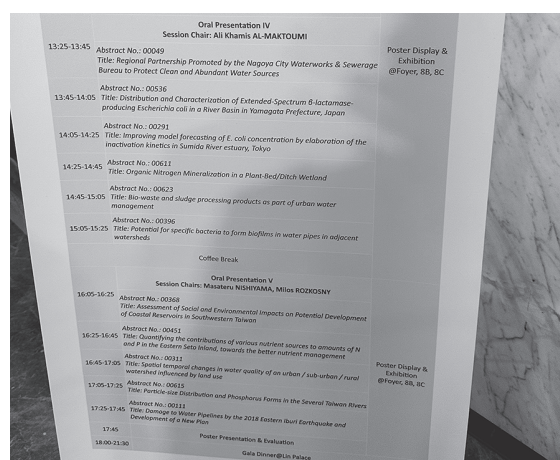


図1 発表したセッションの口頭発表者リスト

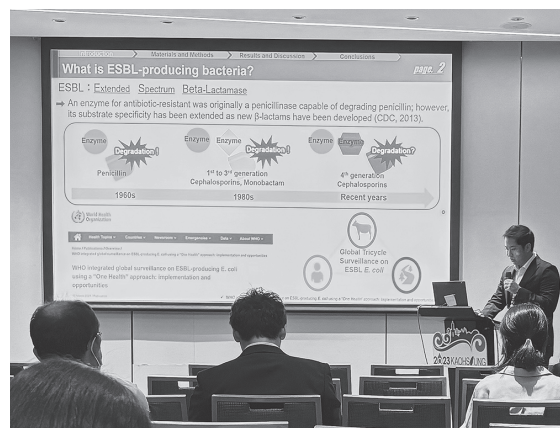


図2 発表の様子